

中村胃腸科内科^など7社 県が経営革新計画を承認

商品開発や販路開拓支援

【那覇支局】県商工労働部は28日、新商品の開発や販路開拓などに取り組み県内7社の経営革新計画を承認した。宮古地区からは離島医療のハンディを克服するためのクリニックの生産性向上をテーマに掲げる中村胃腸科内科（中村献代表）が認定を受けた。承認を受けることで、補助金の活用や低金利の融資が受けられる。

中村胃腸科内科は「胃がん、大腸がんで亡くなる人を減らす」をミッションに掲げ、今後、地域医療・健診の需要が増大することが予想されることやコロナ禍で医療が逼迫したことで今回、経営革新計画を申請した。

同院では業務の効率化を進め、受け入れ可能な健診の枠数、検査数を増やし、癌の早期発見をし、胃がんや大腸がんの死を減らすことで地域医療の貢献を実現していくとしている。